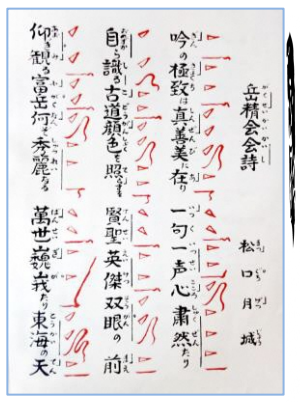
発見！まちのプロフェッショナル

岳精流日本吟院　荒井精水 先生


岳精会会詩

山中小学校いきいき広場では岳精流日本吟院総伝 皆伝師範 荒井精水先生の開催する詩吟教場が約20年間続いています。全国に支部をもつ岳精流。品川支部9教場60名の会員のうち30名がここ山中いきいき教場で吟詠に励んでいます。詩吟は発音、アクセント、何よりも「詩心」を大切にします。音階の一つ陰音階ミ、ファ、ラ、シ、ドの節で「唄う」より「朗誦」します。同じ言葉でも感情の入れ方でその人の持つ個性や感情があらわれ、唯一無二の深みのある吟詠になります。吟じる人を知りその人のよさを引き出すのも先生のお役目と。師範になられてからも、発生練習は欠かさず、詩歌を通じ歴史や偉人を学ぶなど日々研讃を積まれているとのことです。

伊藤学園や山中小のすまいるスクールで教えたり、一般向けの体験教室も行っています。

9月15～17日に山中いきいき広場で行われた無料体験教室に参加してきました。歴史や基本を学びながら実践。おなかから大きな声を出して息を吐ききるのは難しいけど気持ちが良いです。カラオケも上手くなるかも～と思いつつ、詩吟の魅力を味わってきました。

来年の4、9月に同様の体験教室を開催するそうです。
次回は皆さんも是非！

【 平松・嶋村 】

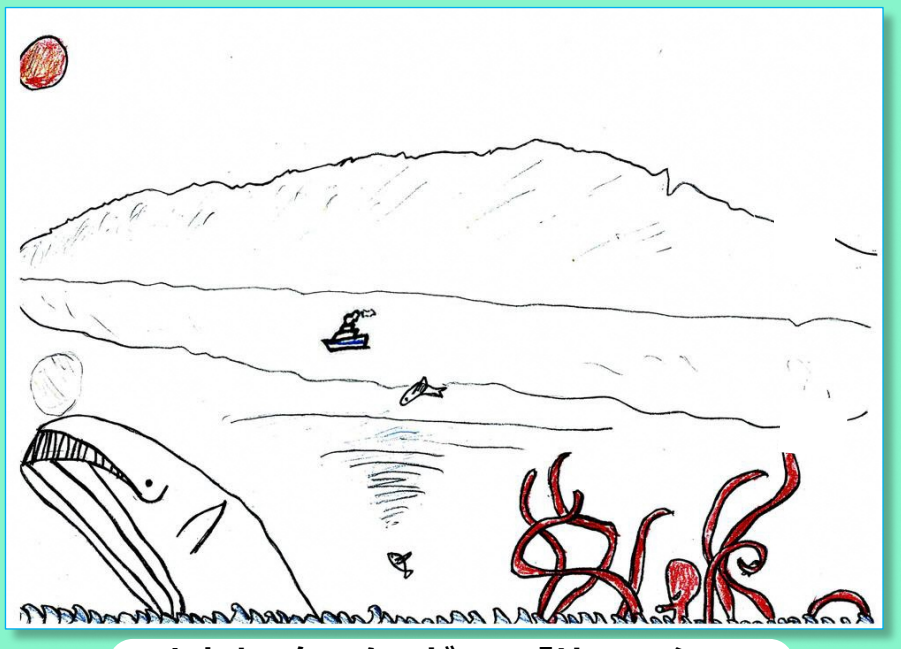
詩吟教室　山中いきいき教場　大井3-7-19（山中小内）
練習日　　土日13時30分～（変更の場合あり、要 問合せ）
岳精流日本吟院総伝　皆伝師範　荒井精水
岳精流日本吟院総伝　皆伝師範　荒井精水
電話 090-8012-8646

ヒント

海の青やキラキラした海面のイメージから、「サファイア」というタイトルになったのかな？素敵ですね(´▽｀)クジラさんがよく描けていると思います。

次は「どこから見た絵を描くか」を考えて絵の配置や大きさを意識してみよう！

【 五十嵐 】



山中小3年　ターゼン　「サファイア」

イラストクラブつぶやき

台風イッカ

母：今日は、台風で雨と風がすごいね。お父さん、帰るところだから大変だよ。明日は、台風イッカで良い天気になるみたい。

子：お母さん、台風って家族がいるのかな。

母：え～っ！？なんで？

子：台風一過（イッカ）って聞いて、うちみたいにお父さん、お母さん、ぼく、のような家族の「一家」がいると思ったんだよ。

母：なるほどね。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

一過（イッカ）と一家。聞くだけなら、台風もひとつの家族？と、思うかも知れないね。

実際にいたら、にぎやかなのでしょうね。

わ！しながわ

第8回

清田（きよた） 忠道（ただみち） さん

わ！しながわ　地域の方を紹介するコーナー。次の方を紹介して頂き『地域の輪』をつなげていきます。

大井町駅近で、再開発によって変化を迎えている大井一丁目権現町会で会長を務めていらっしゃる清田さんは、年末のおしるこ大会や節分の豆まきなどの行事の開催、防犯カメラの設置など、安全・安心に暮らせる町づくりを担っています。

清田会長は他の町会や品川区の方々など、広く人との交流に力を入れて、地道に人の「わ」を広げていらっしゃいます。町会の多くの行事を企画することで、沢山の人が集まって「わ」が出来ること、集まったみなさんの笑顔が見られることが嬉しいと話す清田会長。お話ししている間、常に町会のことを気にかけて熱く語る清田会長は、ウィスキーがお好きで国内外のメーカーのウィスキーを集めているそうですが、「集めるよりも飲んじゃうんだよね」とお茶目な一面もありました。

次回は、大井一丁目鎧町会の藤本会長をご紹介頂きました。ご期待ください！

【前田・森内】

行ってみ隊！ やってみ隊！

パンダ先生の陶芸教室

～身近な大井町にも芸術と気軽に親しめる空間が！秋も深まる今日この頃、「芸術の秋」を楽しむきっかけになるのではないでしょうか

大井町駅から京浜東北線沿いを大森方面へ歩いてほど近く、住宅が並ぶ一風変わりのない細道に「パンダ先生の陶芸教室」はあります。木造アパートを改装したアーティストスタジオ。「どこでもドア」を使ったかのように扉を開くと一変、初めてなのに何だか懐かしいような香りを漂わせ、五感で楽しませてくれる空間がありました。

古民家DIYの陶芸教室

もともと、画家、デザイナーなどアーティストの方々が作品を制作するための作業場を探していた時に、こちら大井町の一戸を見つけ、皆さんで改装まで手掛けたのだそうです。

パンダ先生の陶芸教室は、改装も落着いた昨年春頃、この空間を知ってもらえたら、と教室をオープン。今では地域をはじめ遠方から通う方、仕事帰りに立ち寄る方などさまざまな方が利用されているのだとか。また、何といってもインパクトのある名前、「パンダ」先生の由来について伺うと、「皆に親しみを込めてもらえるようにとお世話になっている方が名付けてくれたんです。その一か月半後に、パンダのシャンシャンが誕生し、おかげでこの名前がより親しみやすくなったのではないか…」と笑って話して下さいました。

パンダ先生こと
坂爪康太朗さん

初めての訪問から和ませて下さりお名前の通り、とても癒される お人柄の「パンダ」先生。

私たちがチャレンジしました！

今回は、実際に**箸置き造りを体験**させて頂きました。陶芸というと、どこか身構えてしまうところがあったものの、作成工程の説明やレクチャーがとても丁寧でわかりやく、さっそく土を触ってみようと、各々が形を考えながらもくもくと実践に取り掛かりました。土から形を作る、乾かす、整える、色を塗るといったいくつかの工程は、小学生の頃の図工でのワクワク感と、焼き上がりをイメージして真剣に配色を選ぶ大人の私たちとが重なるとても面白い時間でした。色塗りを終えると体験はひとまず完了。

焼きの工程はパンダ先生が行ってくださり、焼き上がりまでは二週間ほどかかります。

現在はなんでも速さが好まれる時代ですが、出来上がりを想像しながら待つことも陶芸の一つの楽しみなのだと感じました。

「陶芸は、できることも多い分、覚えることも多いですが、この場所では、方向性に合わせて自らがやりたいことをやってもらいたい。」とパンダ先生。将来的には、このスタジオで生徒の皆さんの展示会を開くことも視野に入れているそうです。なんと、現在通われている方の中には、結婚式の引き出物を造っている方もいらっしゃいます。

やってみ隊メンバーが体験中

陶芸教室 だけでなく

陶芸に限らず、絵画、デザイン、薬膳レシピ作成、二階でバンド練習をする方など、この場所にはさまざまなカラーが混在し、時に、制作中に生の演奏が聞こえたりと非日常的な体験をしたい方にもおすすめの場所なのだとか。教室を通して、いろいろな人が交われる場所、また、来る方が無心になれる場所になればうれしいとの言葉どおり、体験を通し、余計な事を考えず、ものづくりの楽しさを改めて実感しました。

是非一度、足を運んでみては…

【福永・大石・前田・小師・寺嶋・嶋村
レイアウト 角矢】

箸置き造り体験の作品

HP：https://www.panda-sensei.com/
連絡先　090-3575-1588